

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

信

153号

NPO法人 出発のなかまの会

迎春



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

目次

ひんこん かくさ しゃかい 貧困・格差のない社会をめざして	2
みらくるクラブにしほだかとうさん 西穂高登山	4
とうほく かんさい せいかつぶん かこうりゆうさい 『東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭』	6
しゅうねんきねんじぎょう 35周年記念事業	7
しんぶん こう どんどん新聞119号より	8
こそだ にっき 子育て日記	9
わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ	9
かつどう 活動のあと	10

ひんこん かくさ しゃかい 貧困・格差のない社会をめざして

あたら とし むか 新 しい年を迎えるにあたり毎年この一年がよい年でありますようにといつも願っている。
 つうしん で ころ ねまつ しゅうぎいんかいさん この通信が出る頃には年末の衆議院解散による選挙の結果が出ている。希望や期待がもてるよ
 うなものは何ら見えてこないだろう。しょうひぜい 消費税が 5% から 8% に上げられ国民の生活のため医療
 しゃかいほしょう じゅうじつ あんてい つか や社会保障の充実・安定に使われると宣伝された。しかし、医療、年金、介護、子育ての現場
 ではその恩恵は全くといっていいほどなく、げんば 現場での疲弊感は強くなるばかりである。せかい
 見ても、日本を見ても「格差」「貧困」への取り組みは解決への道も見えず、ひとびと 世帯の生活の困難
 さはあらゆるところへひろがり、ふか 深まり、こんめい 混迷を極めている。

それでも多くの人々が、おお ひとびと 自らの力でなかまたちと自らの地域社会を少しでも住みよいも
 のへ変えようと、ぜんこく 全国のアチコチで日々がんばっている。いくのく 生野区において当会も参加し、2014
 ねん 6 月より “いくのく 空地・空家を利用した食と農のプロジェクトをすすめる会” をつくり、
 ちいき 福祉事業所や地域の住民と協同し誰でも来られる居場所づくりを展開している。現在
 “すすめる会” の活動が少しずつつながってきているように思う。おち 地域のいろいろなグルー
 プ・団体が集まりや活動の場として利用し、ちいき 地域での交流、問題の発見・解決に向け取り組み
 は始めている。



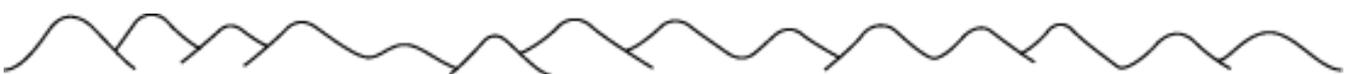
2013年度に引き続き 2014年度も東日本大震災被災障害者を支援する“サンマ祭り”を松野農園で開催し、岩手県宮古市から送られたサンマ、ドンコを提供し、地域の多くの方々に参加していただき大いに盛りあがった。2014年11月から“おおさか若者就労支援機構アグリスタート”の若者たちがつくったおいしい泉州野菜の販売に協力している。毎週新鮮な野菜が届き、“すすめる会”に参加するグループとも協同し販売を継続している。また、“大阪子どもの貧困アクショングループ”と連携し、これから“子ども食堂”をはじめ定期開店をめざしている。貧困からくる子どもの問題は虐待、不登校、発達障害等々深刻さを増しているにもかかわらず、父子、母子家庭への支援、社会的養護へむけた取り組みは遅々としてすすまない。また、松野農園においてもホームレス、ひきこもりなど就労が困難な人々の雇用などに取り組み、スタッフに加わってもらっている。また、孤立しやすい高齢者や若者のボランティアも受け入れていきたい。青田農園においても高齢者、若者などがルームシェアできる住居への取り組みもすすめたいと考えている。市民による市民のための活動は当事者を中心に少しずつ横に拡がり、また新たな活動へとつながりはじめている。

当会も生野区で活動をはじめ 35周年となる。これまで障害児・者の地域での拠点としての場をつくってきた。さらに新たな展開を考え、新しい作業所（生活介護一日中活動）を建設する準備をすすめている。

(イタル・T)



当会は 2014年7月より認定NPO法人となりました。社会的問題に対してはより不可能と思えることから、また、より困難と思えることから、待つのではなく、その現場へ飛び込み、積極的にかかわる姿勢をもたなければ何も見えてこず、実践もできないことを肝に銘じてやっています。認定NPO法人は市民ひとりひとりの自律した行動に支えられてこそ活動の展開ができます。より多くの方々の理解と協力支援がぜひとも必要です。また、福祉分野だけでなく、社会のあらゆる分野で市民が主体となる活動が多く生まれれば社会は変えられると思います。これからもご支援よろしくお願い致します。



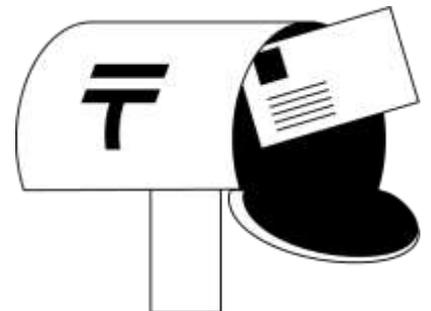


にしほだかとうさん
みらくるクラブ西穂高登山

おとし たてやま さくねん のりくらだけ
一昨年は立山、昨年は乗鞍岳にチャレンジしてみらくるクラブ。今年はどうしよう・・・散々
まよ
迷ったのですが、山ガールのボランティアさんとの出会いもあり、今年も子どもたちと登山に
ちょうせん
挑戦することにしました。目指せ！西穂山系！！

こんかい こ たいりよく あ にしほだかほうめん だいら わ さんこう
今回は子どもたちの体力に合わせて西穂高方面チームとわさび平チームに分かれての山行
です。日本一高い常設ポストのある展望台に全員で上り「がんばるぞー!!!」と記念撮影。

おやこ
親子、きょうだいで違うチームになる子が多いので、ここでし
ばしのお別れです。ちなみにみんな思い思いの人にハガキを出
したのですが、おじいちゃん、おばあちゃん、留守番のお父さん
に出している子がほとんどでした。Hちゃん「2701m に登
りました。って未来の事を書いてしまったから、絶対登らなあ
かんわ～のぼ
登れるけどな！」。



にしほさんそう みち いわ き ね けわ ぜんもう おも
西穂山荘への道は大きな岩あり木の根ありの険しさです。全盲のYくんは思ったよりずっと
はや
早く、そして元気に山荘に到着。「山荘で美女が待っている」の励ましの言葉に力がわいた
そうです。もちろん、美女スタッフ、美女ボランティアが待っていましたよ！

よくあさ きしょう しまえ みこと あさや み さいご しゅっぱつ せたけ
翌朝の起床は5時前！見事な朝焼けを見て、いざ最後のチャレンジに出発！まずは背丈ほ
どもある大きな岩を超えなければ先には進めません。大人の心配をよそに子どもたちはそれぞ
れ自分の目標を目指して歩きます。みんなの根性とチャレンジ精神に脱帽です。みんなとっ
ても格好よかった。



わさび だいら
わさび平チームはせっかく上った展望台を下り途中の散策道でスタンプラリーをしたあと、
わさび だいら こや しゅっぱつ さい ふたり ふうけつ つめ かせ う
わさび平小屋にむけて出発！5歳の2人も風穴で冷たい風を受
けたり、虫を見つけたりしながら歩きました。予定から2時間半遅
れでようやくこや
小屋にたどり着いたのは4時半、夕食の5時まで
と30分しかなかったけど計画したことはやるぞ！の気合いでお
やつのパンケーキを作りました。せっかくかつ い
もちろんだてました。山のテントで食べるパンケーキは「おーい
しー！」そうです。

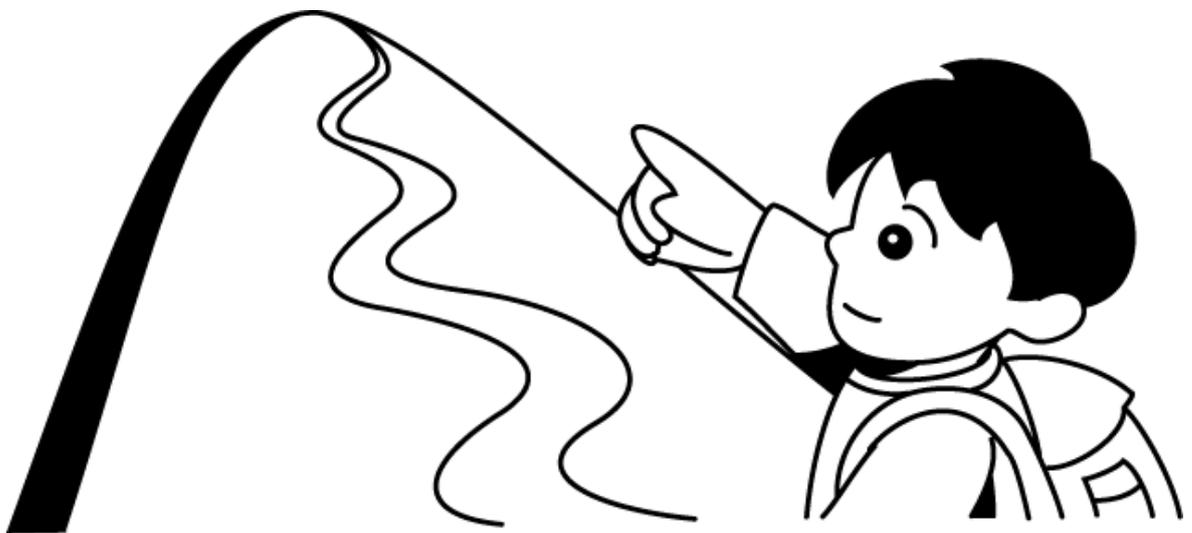
3 日目は鏡平へむかって歩きました。山道に入ったとたん岩、岩、岩……。K さんの車
 はずは途中で歩いて歩きます。途中で、足が痛くなりましたが「俺の足、がんばれ！！」と自分
 の足を叩いてくじけません。A さんはバギーごとわっせわっせと担がれ、岩山を登っていきま
 す。バギーの動きが止まると「早く行けー」とばかりに、A さんの激しいアピールが始まりま
 す。「ちょっと休憩させて〜」とお願いする大人たちでした。すれ違う人たちに「登るんです
 か！？」とビックリ、そして励まされながら本当にみんなよく登りました。

しんどいこともたくさんあったけれど、みんなの自慢げな顔を見たら、また行きたい！と感
 じました。みんなありがとう！そして、活動の趣旨に賛同し参加していただいた、たくさんの
 ボランティアさん、本当にありがとうございました。また一緒に活動して下さることを願っ
 ています。「子どもやスタッフの姿を見て、思いがあれば出来る！と強く感動した。」と言わ
 れ、またまた力がわきました。

自分もチャレンジしたい！と思ったあなた！いつでも連絡待っています。

(ユカ・S)

参加者 子ども：12人 親：4人 スタッフ：9人 ボランティア：8人



『東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭』

11月23日、『東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭』が開催されました。当会からも「た
びだちの店WA」が「焼き芋」と「お菓子すくい」でブース出展しました。

当日は晴天で暑いくらいで、焼き芋は売れるのかと心配しましたが用意した焼き芋は完売で
急遽、焼きジャガを作るほどでした。

「いらっしゃいませ〜」と接客を頑張るスタッフ、汗をかいて
必死に焼き芋を焼くスタッフなど、普段とは違ったスタッフの
一面も垣間見られました。

このお祭りも今回で5回目。今年のテーマは「応援!」。東北も
関西も会場に集まったみんなも出会った人たちが応援し合うお

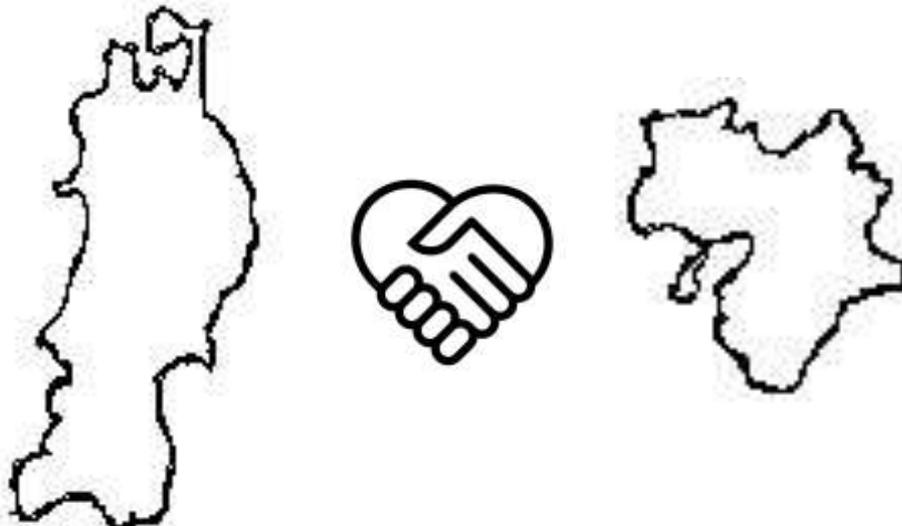
祭りというのがコンセプトでした。「東北⇔関西」の「⇔」は、支援者⇔障がい当事者・被災
当事者ではなく、東北の人と関西の人がお互いの価値観や生活感・文化を尊重しあう双方向の
「⇔」という意味があるそうです。

今後も引き続き、いろんな「⇔」の双方向でつながりあって、そこからパワーを生みだし応援
し合っていけるように頑張りたいと思います。今回のお祭りでの収益や募金は、ゆめ風基金を
通じて被災障がい者支援に使わせていただきます。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



(ミノル・T)



しゅうねんきねんじぎょう
35 周年記念事業

今年は、出発のなかまの会が設立されてから 35 周年を迎えます。記念として、グループに分かれて瀬戸内の島で遊ぼう！大宴会をしよう！と企画しました。5 グループがそれぞれ準備をすすめ、10 月に一斉に瀬戸内の島へ行きました。淡路島へ渡り、テントを張ってキャンプをしたチームや自転車で淡路島を往復したチーム、小豆島へ渡り、寒霞渓を山歩きたチーム、直島へ渡りアート作品を楽しんだチーム、港町神戸でゆっくり観光したチームに分かれて楽しんできました。

11 月 24 日には八尾プリズムホールにおいてお祝いのパーティーを開きました。今回はメンバー・スタッフ・ファミリー会からそれぞれ出し物を披露するという形で行いました。有志グループによる太極拳の演舞につづいてみんなで体を動かした後は、メンバーさんたちによる思い出の歌を 3 曲、寸劇を交えて披露していただきました。その後、各世代の代表がナイフを渡しながらい長いケーキをカットしていくセレモニーをしました。次世代にバトン（ケーキナイフでしたが）を渡すことで繋がりが持てたのではないのでしょうか。スタッフからは、一人の力は小さいけど、仲間を合わせていくぞ！というところを見ていただくと思い、スライドによるメッセージと『人間空気椅子』のチャレンジをしました。ファミリー会からは、作詞作曲した歌「INOCHI」を披露していただきました。親の思いがいっぱい詰まった素晴らしい曲でした。

35 年という長さは、あっという間でもありますが、悲しさやつらさ・感動や発見…いろいろな人に出会い、別れ、色々な物語が紡がれていたように思います。その物語ひとつひとつを大事に持ちつづけ、これからも活動を続けてまいりたいと思います。これからもよろしく願います。

(サトシ・M)

35th Anniversary



©とんとん新聞 No.119 から抜粋して掲載しています

とんとん新聞 No.119



発行日 2014 年 12 月 1 日

発行者 自立生活センター・とんとん

大阪市生野区田島 1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749

上半期とんとんプロジェクトをしました!



2014 年 9 月 25 日 (木) 場所 とんとん 1 階

◆みんなで色々な活動をするぞ!

とんとんでは、毎年、秋の初め頃に 4 月から 9 月までの活動をふりかえるために、上半期とんとんプロジェクトをします。“とんとんへの意見”を集め、10 月以降の下半期の活動につなげていくことが大きな目的です。

メンバーは、とんとんの活動に参加したことで感じた思いや意見を、毎回たくさん話します。それを、みんなで聞きながら、話し合いを進め、今後の活動を考えます。今回のとんとんプロジェクトは、委員の他に Y さんや T さんも参加し、とてもにぎやかな会議となりました。

各場からの意見で多かったのは、講演会の講師をこれからもやりたいという意見です。桃谷高校で講師をしたことがある T さんは、講師をすることに自信がついたようで、「またやりたい、大学でもしたい」と照れながらも、はっきりと言いました。グループホームの支援者から“いろんなメンバーが講師をしたことで、メンバーの地域生活を伝えることが出来て良かった”という意見も寄せられました。他のメンバーからも“講師やりたい”という意見をたくさんもらいました。K さんは、“講師します、おどります!”という宣言ファックスを送ってくれました。今後も、積極的に講演を引き受けることになりました。

次に議題となったのは、“とんとん会議への参加や講師をすることが難しいメンバーが出来る活動はないか?”ということです。特に、大勢の人がいる場所が苦手なメンバーが出来る活動はないかな?ということについて話し合いました。「S さんは、定期的に外出しているな」「U さん、N さんも散歩とかするぞ」との意見がメンバーから出ました。

「とんとん新聞の配達頼めないかな?」と意見が出た瞬間、全員で一斉に「それだー!」と叫び、あっという間に意見がまとまりました。これからのとんとん新聞の配達は、いろいろな人にお願いをする予定です。たくさんのメンバーと力を合わせて、これからもみんなで、いろいろな活動をするぞ!



こそだ 子育てスタッフ日記

子どもの頃から本好きだった僕の性格が遺伝したのか、5歳になる息子も小さい頃からずっと本好きで、最近のお気に入りの場所は図書館です（実は僕も図書館にはよく行っていました）。

書店は新刊がメインですが、図書館には色々な年代の本が揃うのでかえて新鮮なようで、「こんな古い本があったよ」と嬉しそうに持って来て、自分の気に入った本（主に鉄道関係）を見つける楽しみもあります。結構マニアックな本も多く揃っているので、情報がどんどん専門的になり、こちらが会話についていけず教えてもらうことも多くなっています。

そんな息子と図書館で本を借りるときに一つ約束したことがあります。それは「図書館の本はみんなのものなので大切にしよう」ということです。この約束はしっかり守っていて、自分で買った本はほったらかしにしていることが多いですが、図書館で借りた本はしっかり片づけています。また、図書館の本は古い本が多く、どうしても破れなどがありますが、それを見つければセロハンテープを持って来て「修理して」と頼んできます。

図書館は本から多くの事を学んでいくとともに、物を大切にすることも学んだ貴重な場所になりました。僕も色々な本との出会いによって、多くの事を学んだので、息子にも多くの出会いと学びが訪れることを願っています。

（シンペイ・H）



わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ

グループホーム和楽苦荘で暮らすUさんはてんかん発作を持っています。発作の兆候はなんとなくわかりますが、それも曖昧で結局いつ起きるのかはわかりません。

先日、Uさんと近所のスーパーに買い物に出かけた時に、スーパーの中でてんかん発作を起こされました。床に倒れ込んでしまったUさんに店員さんが「救急車は必要か？」「床は冷たくないか？」「何か飲むものでも必要か？」「動けるようになるまで気にせず休んでください」と、いろいろと気をかけて下さいました。15分程休ませてもらうと、ふらふらしながらも立ち上がり、なんとか和楽苦荘まで無事に帰りました。

Uさんの生活とてんかん発作によるリスクは切り離す事はできません。ですが、支援者の配慮次第で外傷は最低限に抑える事ができます。外出中に倒れても今回の様に気にかけてくれる人もいます。これからも気にかけてくれる人が増えるように、どんどん買い物に出かけたいと思います！

（コウハイ・O）

活動のあと

10/3	グループホームスタッフ全体会 執行委員会 出発通信発送、子どもの育ちを考える会	11/13	研修受け入れ(ベトナム) 大阪市オールラウンド交渉事前学習会(どんどん)
10/4	みらくるクラブ西穂登山振り返り会	11/14	内部研修(精神医学の勉強会) 普通救命講習 I (生野区グループホーム連絡会)
10/8~10	出発のなかまの会設立 35 周年記念旅行 (淡路島・小豆島・直島)	11/15	知的障害者(児)ガイドヘルパー養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会)
10/12	すきっぷ日曜開所日	11/16	みらくるクラブ(運動会)【長居公園自由広場】
10/15	食と農のプロジェクトをすすめる会 内部研修(発達障害勉強会) 生野区グループホーム連絡会	11/17	大阪市オールラウンド交渉①
10/16	生野区自立支援訪問系事業者連絡会 障大連グループホーム世話人研修会 Kさん自立に向けての会議 起業セミナー打ち合わせ	11/18	理事会/内部研修(発達障害勉強会) 作業所ミーティング
10/17	WAロン Tさん IFP(個人将来計画)会議 CPAO(大阪子どもの貧困アクショングループ) 食堂打ち合わせ	11/19	食と農のプロジェクトをすすめる会
10/18	ショートステイ連絡協議会	11/20	1日職員交換研修実施(地域共生ケア生野推進委員会) Kさん自立に向けての会議
10/21~24	実習生受け入れ	11/21	WAロン
10/21	Yさん IFP(個人将来計画)会議 Nさん IFP(個人将来計画)会議	11/22	知的障害者(児)ガイドヘルパー養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会) 第 15 回なにゅうとおんねんまつり出演 (Yさんチャンゴナベーズ)
10/22	食と農のプロジェクトイベント(苔盆栽教室)【松野農園】 生野区学童期の子ども支援連絡会	11/23	第 5 回東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭出演
10/24	Yさん IFP(個人将来計画)会議 内部研修(精神医学の勉強会) 障大連運営委員会 あるる見学	11/24	出発のなかまの会設立 35 周年記念パーティー
10/26	「このゆびとーまれ」講演会 (地域共生ケア生野推進委員会)	11/25	大阪市オールラウンド交渉② 生野区自立支援協議会 1日職員交換研修受け入れ (地域共生ケア生野推進委員会)
10/27	Kさん応援会議 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議	11/26	「地域包括ケアの実践を学ぼう」講演会参加
10/28	作業所ミーティング 重症心身障害児に対する医療的ケア研修参加	11/28	作業所のサービスをよくする会議① 内部研修(精神医学の勉強会) 障大連運営委員会 地域共生ケア生野推進委員会
10/29	Tさん IFP(個人将来計画)会議	11/30	舍利寺セールス店
10/30	きらら親の会	12/1	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
10/31	内部研修(Kさんケア研修) 成年後見推進委員会 地域共生ケア生野推進委員会役員会	12/3	見学受け入れ(あいえる)
10/31~11/2	ピープルファースト in 沖繩	12/4	Kさん応援会議
11/4	起業セミナー打ち合わせ	12/5	グループホームスタッフ全体会議
11/5	Pさん IFP(個人将来計画)会議 成年後見説明 CPAO(大阪子どもの貧困アクショングループ) 食堂打ち合わせ	12/10	Kさん IFP(個人将来計画)会議/執行委員会
11/6	生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会	12/11	Tさん IFP(個人将来計画)会議 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
11/7	グループホームスタッフ全体会議 執行委員会 大阪市里親会「里親体験談」 生野区学童期の子ども支援連絡会	12/12	内部研修(精神医学の勉強会)/内部研修(感染症研修①)
11/8	食と農のプロジェクトイベント(サンマ祭り)【松野農園】 知的障害者(児)ガイドヘルパー養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会)	12/13	奈良マラソン/すきっぷ日曜開所日 CPAO(大阪子どもの貧困アクショングループ) 食堂オープン【松野農園】
11/9	すきっぷ日曜開所日 子ども権利条約フォーラム参加	12/14	大阪障害者自立セミナー2014 グループホーム部会講師(どんどん)
11/10	Kさん応援会議	12/15	内部研修(感染症研修②) 作業所プロジェクト会議
11/10~16	実習受け入れ(四天王寺大学)	12/16	Tさん IFP(個人将来計画)会議 作業所ミーティング
11/11	パンジー見学	12/17	内部研修(発達障害勉強会)
11/12	障大連大阪市ブロック会議 生野区グループホーム連絡会 1日職員交換研修受け入れ (地域共生ケア生野推進委員会)	12/17	食と農のプロジェクトをすすめる会 生野区グループホーム連絡会
11/13	生野区自立支援訪問系事業者連絡会	12/19	桃谷高校講演(どんどん)
		12/19	WAロン 地域共生ケア生野推進委員会役員会
		12/21	みらくるクラブ(もちつき)【松野農園】
		12/22	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議 作業所のサービスをよくする会議②
		12/24	関西大学講演(どんどん)
		12/25	Kさん自立に向けての会議 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
		12/26	内部研修(精神医学の勉強会) Iさん IFP(個人将来計画)会議 障大連運営委員会

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル 4 階 頒価 100 円

へんしゅうこうき
編集後記

あけましておめでとうございます。
 さくねん たびだち かい しゅうねん
 昨年(しゅうねん)は出(た)発(だ)のなかま(かい)の会(しゅうねん)の 35 周年(しゅうねん)で(え)し
 た。40 周年(しゅうねん)、50 周年(しゅうねん)も笑顔(えが)で迎(むか)えるこ
 と(で)が出来(でき)るように頑(がん)張(ば)ります!!
 (コウハイ・〇)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011
 大阪市生野区田島 1-10-30 たびだち共働作業所内
 TEL 06-6758-6641
 FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080
 (特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール infotabidati@oct.zaq.ne.jp
 ホームページ http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati 700 部